

# 第 15 回いわき景気ウォッチャー調査

平成 17 年 8 月調査結果（平成 17 年 9 月 30 日発表）

東日本国際大学地域経済研究所 / いわき商工会議所

05 年 5 月調査以降、景気判断の分かれ目である DI 水準 50.0 を下回り、水面下での“踊り場”にあったいわき地域の景気は、今回に至り、**雇用関連**以外の全業種がほぼ 1 年振りに DI 水準 50.0 を越えており、**雇用関係**は今回の調査対象期間での動きがすくないという季節要因であることを考慮すると、回復基調の兆しをうかがわせている。なお前回調査で際立っていた業種間のバラツキは解消されている

主要業種別には前回低水準にあった**家計動向関連**が、**飲食関連**では DI 23.0p 増の大幅回復と**小売関連**と**サービス関連**のそれぞれ DI 11.1p 増、10.0p 増の回復から、全体で DI 10.5 増の 51.4 と回復している。これに対して**企業動向関連**は DI が 0.5p 減の 53.3 と横ばい状態にある。

先行きは、**企業動向関連**がかるうじて DI 50.0 の水準維持であるのに対して、**家計動向関連**は DI 56.4 と DI 50 水準を上回ると予想されている。なお**雇用関連**の DI は大幅減となったがそれでも 62.5 の水準を示している。

（参考）「いわき市の経済・景気」（「Trail」10 号平成 17 年 9 月いわき未来づくりセンター刊）では“いまだ踊り場にある”とされている。これと本調査との違いは本調査がアンケート調査であるという調査方式の違いとデータ対象期間が新しいことなどによる。従って本調査で示されている“回復基調の兆し”の今後について次回以降の動向で判断されるべきである。

## ・ 現状判断

### 1. 全業種

現状判断 DI は、前回（05 年 5 月）に比べ 7.6 ポイント（以下 p）増加して 51.4 と、04 年 8 月調査の 51.2 以降ほぼ 1 年振りに景気分かれ目である 50.0 を上回った。

構成比では「悪くなっている」が前回に比べて 16.7% 減少して 15.4% となった一方で、「良くなっている」が 5.2% 増の 25.0% となった。ただ「変わらない」が 9.6% 増の 59.6% と大層を占めている。

### 2. 主要業種別

主要業種別 DI は、**雇用関連**以外の業種で景気分かれ目である 50.0 を上回った。

景気現状判断（要約表）

区 分	現状判断 DI		判断構成比（前回差）						
	DI	前回差	良くなっている	（前回差）	変わらない	（前回差）	悪くなっている	（前回差）	
全業種	51.4	7.6	25.0%	5.2%	59.6%	9.6%	15.4%	-16.7%	
業種別	家計動向関連	51.4	10.5	25.8%	11.2%	60.0%	11.2%	14.3%	-22.3%
	小売関連	50.0	11.1	26.7%	15.6%	53.3%	3.3%	20.0%	-18.9%
	飲食関連	56.3	23.0	50.0%	50.0%	25.0%	-25.0%	25.0%	-25.0%
	サービス関連	52.1	4.2	8.3%	-8.4%	91.7%	25.0%	0.0%	-16.6%
	住宅関連	50.0	10.0	50.0%	10.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-35.0%
	企業動向関連	53.3	-0.5	26.7%	-4.1%	60.0%	6.2%	13.3%	-2.1%
雇用関連	37.5	0.0	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

まず**家計動向関連**は前回より 10.5p 増の 51.4 となった。構成比では「悪くなっている」

が22.3%も減少して14.3%、「良くなっている」が11.2%増の60.0%と大幅に好転している。業態別でもっとも回復したのが飲食関連で、DIでは前回より23.0p増の56.3で、構成比で「悪くなっている」が25.0%減少して25.0%、この結果「よくなっている」が50.0%増の50.0%となった。ついで住宅関連ではDIが前回より10.0p増の50.0、構成比では「変わらない」が35.0%減少して25.0%、小売関連はDIが11.1p増の50.0、構成比では「悪くなっている」が18.9%減で20.0%とともに好転している。これに対してサービス関連のDIは4.2p増の52.1、構成比では「悪くなっている」が16.6%減少して構成比がゼロ、「良くなっている」が8.4%減の8.3%とわずかな回復となった。

ついで企業動向関連はDIが0.5p減の53.3、構成比で「悪くなっている」が2.1%減の13.3%とわずかに減少した一方で、「良くなっている」が4.1%減の26.7、「変わらない」が6.2%増の60.0%とほぼ前回水準並となっている。

なお雇用関連はDIが前回と同水準の37.5と低水準にあるが、今回の調査対象期間での動きがすくないという季節要因と思われる。

## ・ 先行き判断

### 1. 全業種

先行き判断DIは3.0p増の54.8、構成比では「変わらない」が0.8%増の61.5%を占めている一方で、「悪くなる」が4.7%減の9.6%、「よくなる」が3.8%増の28.8%とわずかながらの好転を予想している。

### 2. 主要業種別

主要業種別には企業動向関連と雇用関連が、DIでそれぞれ7.7p減の50.0、12.5p減の62.5と、ともにわずかな下降を予測されているが、DI水準は50.0を維持している。

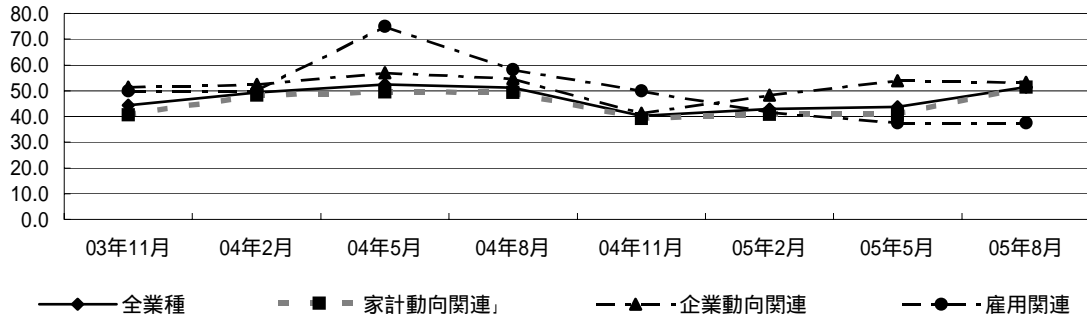
家計動向関連のDIは、前回より7.6p増の56.4、構成比では「悪くなる」が10.9%減の8.6%、「良くなる」が14.8%増の34.3%と引き続き好転を予想している。業態別には、小売関連が10.9p増の56.7、飲食関連が6.3pの56.3、「サービス関連」が6.2pの58.3とともにわずかな好転を、ただ住宅関連は前回と同水準を予想されている。

景気の先行き判断（要約表）

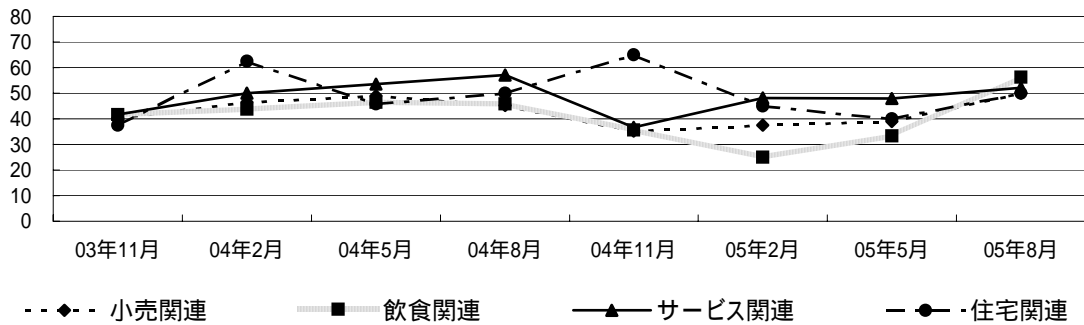
区 分	先行き判断DI		判断構成比（前回差）						
	DI	前回差	良くなる	（前回差）	変わらない	（前回差）	悪くなる	（前回差）	
全 業 種	54.8	3.0	28.8%	3.8%	61.5%	0.8%	9.6%	-4.7%	
業 種 別	家計動向関連	56.4	7.6	34.3%	14.8%	57.1%	-3.9%	8.6%	-10.9%
	小売関連	56.7	10.9	33.3%	16.6%	60.0%	4.4%	6.7%	-21.1%
	飲食関連	56.3	6.3	50.0%	16.7%	25.0%	-25.0%	25.0%	8.3%
	サービス関連	58.3	6.2	33.3%	25.0%	66.7%	-25.0%	0.0%	0.0%
	住宅関連	50.0	0.0	25.0%	-15.0%	50.0%	30.0%	25.0%	-15.0%
	企業動向関連	50.0	-7.7	13.3%	-17.5%	73.3%	4.1%	13.3%	13.3%
雇用関連	62.5	-12.5	50.0%	-50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

(注)詳細は東日本国際大学地域経済研究所のHP(<http://tonichi-kokusai-u.ac.jp>)の「別表」を参照してください。

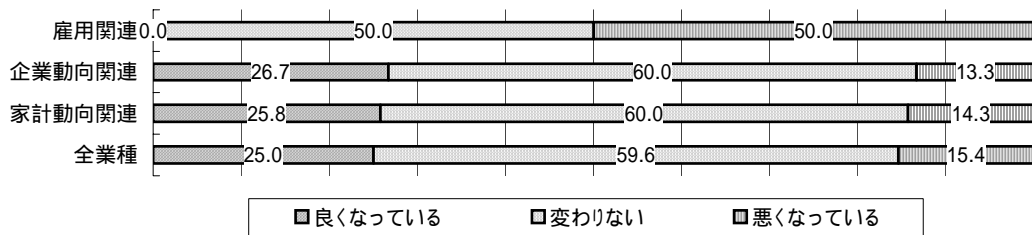
参考1 現状D!判断水準・推移グラフ(1):主要4業種



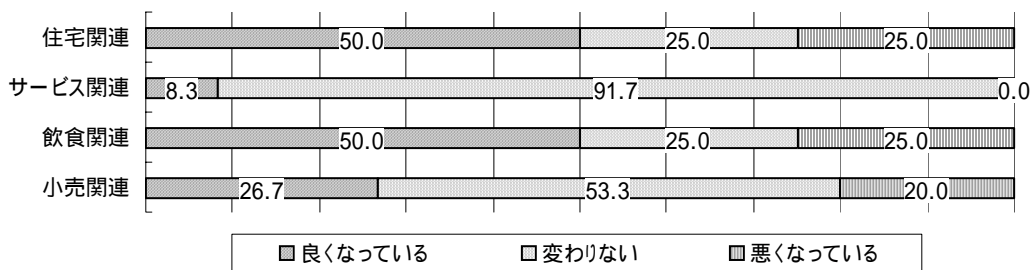
参考2 現状判断D!水準・推移グラフ(2):家計関連動向関連内訳4業種



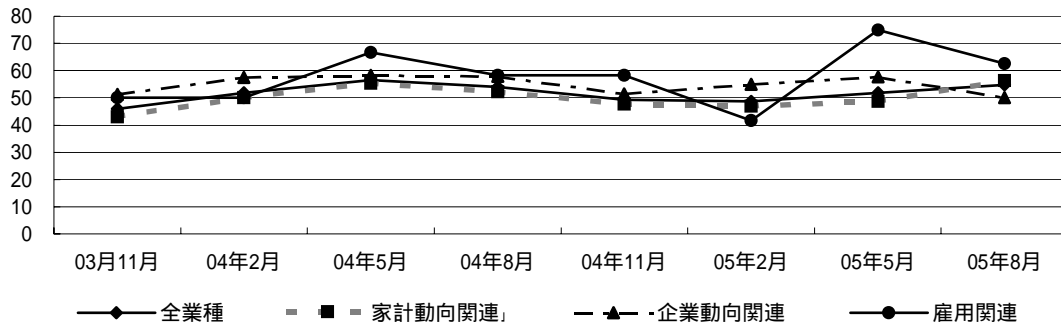
参考3 現状判断構成比(1):主要4業種



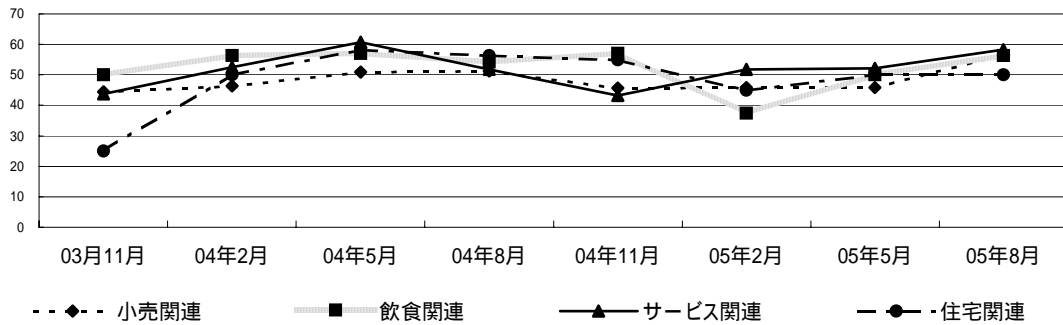
参考4 現状判断構成比(2):家計動向関連内訳4業種



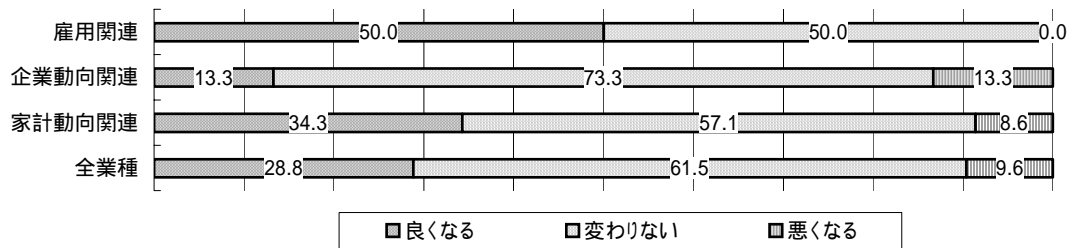
参考5 先行きD:判断水準・推移グラフ(1):主要4業種



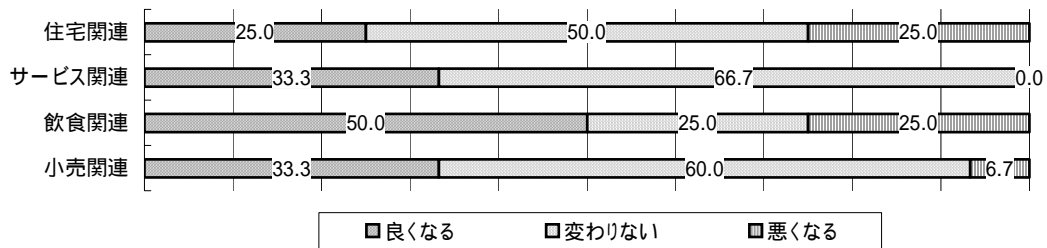
参考6 先行き判断D:水準・推移グラフ(2):家計関連動向関連内訳4業種



参考7 先行き判断構成比(1):主要4業種



参考8 先行き判断構成比(2):家計動向関連内訳4業種



# 第15回いわき景気ウォッチャー調査

別表

表A 現状判断

## ・景気の現状判断 DI (推移)

DI	04年11月	05年2月	(前回差)	05年5月	(前回差)	05年8月	(前回差)
合計	40.2	42.8	2.6	43.8	1.0	51.4	7.6
家計動向関連	39.2	40.9	1.7	40.9	0.0	51.4	10.5
小売関連	35.3	37.5	2.2	38.9	1.4	50.0	11.1
飲食関連	35.7	25.0	-10.7	33.3	8.3	56.3	23.0
サービス関連	36.7	48.2	11.5	47.9	-0.3	52.1	4.2
住宅関連	65.0	45.0	-20.0	40.0	-5.0	50.0	10.0
企業動向関連	41.2	48.3	7.1	53.8	5.5	53.3	-0.5
雇用関連	50.0	41.7	-8.3	37.5	-4.2	37.5	0.0

## ・景気の現状判断：業種別構成比(今回分)

区分	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	DI
合計	1.9%	23.1%	59.6%	9.6%	5.8%	51.4
家計動向関連	2.9%	22.9%	60.0%	5.7%	8.6%	51.4
小売関連	0.0%	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%	50.0
飲食関連	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	56.3
サービス関連	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	52.1
住宅関連	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	50.0
企業動向関連	0.0%	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%	53.3
雇用関連	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	37.5

## ・景気の現状判断(構成比推移)

### 1. 全体

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	14.1%	46.9%	25.0%	14.1%
05	2	0.0%	15.3%	47.5%	30.5%	6.8%
	(前回差)	0.0%	1.2%	0.6%	5.5%	-7.3%
05	5	0.0%	17.9%	50.0%	21.4%	10.7%
	(前回差)	0.0%	2.6%	2.5%	-9.1%	3.9%
05	8	1.9%	23.1%	59.6%	9.6%	5.8%
	(前回差)	0.0%	5.2%	9.6%	-11.8%	-4.9%

### 2-1. 家計動向関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	18.2%	38.6%	25.0%	18.2%
05	2	0.0%	12.2%	48.8%	29.3%	9.8%
	(前回差)	0.0%	-6.0%	10.2%	4.3%	-8.4%
05	5	0.0%	14.6%	48.8%	22.0%	14.6%
	(前回差)	0.0%	2.4%	0.0%	-7.3%	4.8%
05	8	2.9%	22.9%	60.0%	5.7%	8.6%
	(前回差)	2.9%	8.3%	11.2%	-16.3%	-6.0%

### 2 - 1 - 1 . 小売関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	11.8%	35.3%	35.3%	17.6%
05	2	0.0%	5.6%	55.6%	22.2%	16.7%
	(前回差)	0.0%	-6.2%	20.3%	-13.1%	-0.9%
	5	0.0%	11.1%	50.0%	22.2%	16.7%
	(前回差)	0.0%	5.5%	-5.6%	0.0%	0.0%
	8	0.0%	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%
(前回差)	0.0%	15.6%	3.3%	-8.9%	-10.0%	

### 2 - 1 - 2 . 飲食関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%
05	2	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%
	(前回差)	0.0%	-14.3%	-17.9%	35.7%	-3.6%
	5	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%
	(前回差)	0.0%	0.0%	25.0%	-16.7%	-8.3%
	8	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
(前回差)	25.0%	25.0%	-25.0%	-33.3%	8.3%	

### 2 - 1 - 3 . サービス関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	13.3%	40.0%	26.7%	20.0%
05	2	0.0%	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%
	(前回差)	0.0%	8.1%	10.0%	1.9%	-20.0%
	5	0.0%	16.7%	66.7%	8.3%	8.3%
	(前回差)	0.0%	-4.7%	16.7%	-20.3%	8.3%
	8	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%
(前回差)	0.0%	-8.4%	25.0%	-8.3%	-8.3%	

### 2 - 1 - 4 . 住宅関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
05	2	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	5	0.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%
	(前回差)	0.0%	20.0%	-40.0%	0.0%	20.0%
	8	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
(前回差)	0.0%	10.0%	25.0%	-40.0%	5.0%	

## 2 - 2 . 企業動向関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	0.0%	70.6%	23.5%	5.9%
05	2	0.0%	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	26.7%	-30.6%	9.8%	-5.9%
	5	0.0%	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%
	(前回差)	0.0%	4.1%	13.8%	-17.9%	0.0%
	8	0.0%	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-4.1%	6.2%	-2.1%	0.0%

## 2 - 3 . 雇用関連

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
04	11	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
05	2	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-33.3%	33.4%	0.0%	0.0%
	5	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	-16.7%	16.7%	0.0%
	8	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**表 B 先行き判断**

### . 景気の先行き判断 DI (推移)

DI	04年11月	05年2月 (前回差)	05年5月 (前回差)	05年8月 (前回差)
合計	49.2	48.7	-0.5	51.8
家計動向関連	47.7	47.0	-0.7	48.8
小売関連	45.6	45.8	0.2	45.8
飲食関連	57.1	37.5	-19.6	50.0
サービス関連	43.3	51.8	8.5	52.1
住宅関連	55.0	45.0	-10.0	50.0
企業動向関連	51.5	55.0	3.5	57.7
雇用関連	58.3	41.7	-16.6	75.0

### . 景気の先行き判断：業種別構成比 (今回分)

区分	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI
合計	1.9%	26.9%	61.5%	7.7%	1.9%	54.8
家計動向関連	2.9%	31.4%	57.1%	5.7%	2.9%	56.4
小売関連	0.0%	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%	56.7
飲食関連	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	56.3
サービス関連	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	58.3
住宅関連	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0
企業動向関連	0.0%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%	50.0
雇用関連	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	62.5

・景気の先行き判断（構成比推移）

1.全体

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	1.6%	20.3%	56.3%	17.2%	4.7%
05	2	1.7%	23.7%	50.8%	15.3%	8.5%
	(前回差)	0.1%	3.4%	-5.5%	-1.9%	3.8%
	5	0.0%	25.0%	60.7%	10.7%	3.6%
	(前回差)	-1.7%	1.3%	9.9%	-4.6%	-4.9%
	8	1.9%	26.9%	61.5%	7.7%	1.9%
(前回差)	1.9%	1.9%	0.8%	-3.0%	-1.7%	

2 - 1 . 家計動向関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	2.3%	15.9%	59.1%	15.9%	6.8%
05	2	0.0%	26.8%	46.3%	14.6%	12.2%
	(前回差)	-2.3%	10.9%	-12.8%	-1.3%	5.4%
	5	0.0%	19.5%	61.0%	14.6%	4.9%
	(前回差)	0.0%	-7.3%	14.7%	0.0%	-7.3%
	8	2.9%	31.4%	57.1%	5.7%	2.9%
(前回差)	2.9%	11.9%	-3.9%	-8.9%	-2.0%	

2 - 1 - 1. 小売関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	0.0%	11.8%	70.6%	5.9%	11.8%
05	2	0.0%	16.7%	61.1%	11.1%	11.1%
	(前回差)	0.0%	4.9%	-9.5%	5.2%	-0.7%
	5	0.0%	16.7%	55.6%	22.2%	5.6%
	(前回差)	0.0%	0.0%	-5.5%	11.1%	-5.5%
	8	0.0%	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
(前回差)	0.0%	16.6%	4.4%	-15.5%	-5.6%	

2 - 1 - 2. 飲食関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	14.3%	14.3%	57.1%	14.3%	0.0%
05	2	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
	(前回差)	-14.3%	10.7%	-32.1%	10.7%	25.0%
	5	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%
	(前回差)	0.0%	8.3%	25.0%	-25.0%	-8.3%
	8	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
(前回差)	25.0%	-8.3%	-25.0%	0.0%	8.3%	



### 2 - 1 - 3. サービス関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	0.0%	13.3%	53.3%	26.7%	6.7%
05	2	0.0%	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%
	(前回差)	0.0%	22.4%	-10.4%	-12.4%	0.4%
	5	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-27.4%	48.8%	-14.3%	-7.1%
	8	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	25.0%	-25.0%	0.0%	0.0%

### 2 - 1 - 4. 住宅関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%
05	2	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	-20.0%	0.0%	20.0%
	5	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	-20.0%
	8	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-15.0%	30.0%	-15.0%	0.0%

### 2 - 2. 企業動向関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	0.0%	29.4%	47.1%	23.5%	0.0%
05	2	6.7%	20.0%	60.0%	13.3%	0.0%
	(前回差)	6.7%	-9.4%	12.9%	-10.2%	0.0%
	5	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%
	(前回差)	-6.7%	10.8%	9.2%	-13.3%	0.0%
	8	0.0%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-17.5%	4.1%	13.3%	0.0%

### 2 - 3. 雇用関連

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
04	11	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
05	2	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
	5	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	100.0%	-66.7%	-33.3%	0.0%
	8	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	(前回差)	0.0%	-50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

以上

# 景気判断理由等集

## ・景気現状に対する理由等

分野	判断（質問2）	判断の理由（質問3）
小売り	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小物、道具類など買い揃える様になった。</li> <li>・梅雨あけがおくれたがその後、暑い夏になったので。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月は暑さもあり、全般的に良かったが、8月に入り売上げが苦戦している。</li> <li>・当社の売上げが下がっているが、他の所との比較は難しいです。</li> <li>・一品単価の下落が続いている。</li> <li>・前回の回答時より改善の兆しが見えてこない。駅前再開発による消費の市外流出が感じられる。</li> <li>・高額な液晶テレビやプラズマは売れているが、それは現在使用しているテレビが壊れ、買い替えなければなら需要の中のことで、景気が良いことではないと考えます。</li> <li>・社会全般では企業収益の改善、株価の上昇等明るい材料があり上向いていると考えます。しかし、家電においてはデジタル商品の伸率鈍化や単価の下落、天候不順もあり一進一退の状況です。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街中にお客様が少ない。大型店に流れている。又、他県に流出している。</li> <li>・当業に於ける高額消耗品の販売が減傾向</li> </ul>
	悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デパートなどの売上げは伸びている様ですが、地方の零細小売業は来客数の減少と客単位の減少のダブルパンチ。</li> </ul>
飲食	良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわきは夏の素材に恵まれていること、ウニ、アワビ等多くのお客様にお越しいただき感謝しております。</li> </ul>
	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年対比で見ると上向いているから。（飲食費）</li> </ul>
	悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は選挙が重なりこの影響はかなり重いものです。</li> </ul>
サービス	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治的安定、株価上昇など景気マインドは比較的順調と思われるため。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に国政選挙を含めて市長選・県議補選と選挙があり、秋のスタートとしては動きが悪いと考えます。特に法人は選挙期間中は動きが鈍くなります。</li> <li>・7～8月度は、一年の中でも特に繁忙の期間と位置付けているが、例年に比較し 5～10%と悪い。特に、夏祭り行事関係の影響が弱くなっている点が心配である。（七夕、いわき踊りなど）</li> <li>・変化なし、要因なし。</li> <li>・原油高騰に伴う末端価格上昇により家計への負担が増加。求人増傾向はあるが、バイト中心。景気回復が一部製造業に限られている状況であり、食品、衣料など日用品は安売日に来店者集中。これらを踏まえて考えると差引ゼロで景気回復基調に至っていないと思われる。</li> <li>・利用客数は増えているものの、利用単価は低落傾向にあり景気状況が良くわからない。</li> <li>・月別の変動が大きい、平均すると変わらない。</li> <li>・一週間を例にすると曜日又は時間によって忙しい時が集中し、忙しい日が連続しない。</li> <li>・愛知地球博覧会にとられ低迷している。宿泊単価も安く、望むものは高い。</li> </ul>
住宅	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自民党圧勝であるが、景気については不安材料が多い。</li> </ul>
	悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に仕事の量が少しまわり、でも同様。</li> </ul>
企業	やや良くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の受注状況、好間工業団地の動き、上場企業の業績、株式の高値などによる。</li> <li>・内容は別にして求人が増えてきているから。</li> <li>・売上げが上昇している。</li> <li>・貨物の取扱数量が少し増えている。</li> </ul>
	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客の様子をみると、上向きと下向きの双方の意見がある。まだ、相対的に下向きとの割合が高く感じられる。</li> <li>・引き続き官需の他に民需も厳しい状況。</li> <li>・景気の良い話を聞かない。</li> <li>・売上げを見て感じます。</li> <li>・地方においてもデフレから脱却しておらず、当面現状の中で推移する考えます。</li> </ul>

	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月8月をさかいに景気の後退がみられる。</li> <li>・原油高の影響、政府が構造改革中心に動いて景気対策への対応は何もしていない。</li> </ul>
雇用	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種さらに企業ごとにミクロで見れば上向き企業もあるが、地元企業（他府県出先外）を見た場合は、全体的には良くなっているとは思えない。</li> </ul>
	やや悪くなっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油の高騰等により、景気の先行き見通しが不透明なため、設備投資や新規雇用の創出に企業が慎重なため。</li> </ul>

### ・景気の先行きに関する判断理由等

分野	判断（質問4）	判断の理由（質問5）
小売り	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状から比べれば良くなるという判断です。必要に迫られたり、絶対に欲しいと感じる物は容易に購入できる個人消費力はあと思っています。</li> <li>・地上デジタル放送の開始や各社新製品の投入が予定されるため。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先に書いた様に街に大黒やの様な人を集める所がなくなり、郊外店や県外に流出しているため街全体として考えてゆかねばならないと思います。</li> <li>・選挙前後は今までの経緯からするとあまり良くない時が多い。</li> <li>・お客様の全般的な声を聞くとまだまだという感じがする。</li> <li>・商店街の機能崩壊と高齢化に対応出来ない状況です。</li> <li>・駅前再開発に伴う店舗の移転や廃業、そして大規模な工事でショッピングの楽しさがなく来街者が大幅に減少しそう。</li> </ul>
	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者可処分所得が減ってくる気配により準備体制にはいつてきている。</li> </ul>
飲食	良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良くなってくると思えば努力しなければと思います。世の中のせい、人のせいにしては始まりません。自助努力と思います。</li> </ul>
	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に金融関係の不良債権が整理されて経済が安定してきているから。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今が悪いので変わりようがない。選挙が終わっても当分は静かにしているので同じ状態が続くと思う。</li> </ul>
サービス	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙での現政権の評価が高いため。</li> <li>・一部製造業は稼働順調のようであり、求人募集状況もアルバイト中心ながら増加している。原油高の影響は生じると思われるが、企業業績の回復傾向から冬季賞与の増額も期待され消費回復にプラス方向に働くのでは。</li> <li>・年末に向けて動きがあるような期待をして。</li> <li>・今年の夏がとて暑く長引いているため、夏の好景気が少し影響するのではないか。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景気が上向き材料が見当たりません。旅行業として愛知博も9月25日で終了します。その後のイベントも余り刺激する物がない。</li> <li>・選挙の影響が出るものと推測される。</li> <li>・特に客単価が上昇する変化がない。買上点数が少なく売上げに寄与しておらず、力強さが感じられない。</li> <li>・将来に期待が持てないため、個人消費は回復しない（雇用や年金等国民に直接関係ある問題への対策はなされないため。）</li> <li>・利用客数は増えているものの、利用単価は低落傾向にあり景気の状態が良くわからない。</li> <li>・予約状況が悪い。インターネットの波及で、低価格が当然となっている。</li> </ul>
住宅	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業界には良い話がない。</li> </ul>
企業	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期待も込めて。全体的に底打ちの感はある。</li> <li>・減船により。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今が上向いている状況で更に良くなるとは思わない横這い状態か。</li> <li>・消費低迷が続くであろうから。</li> <li>・明るい材料が不足。</li> <li>・売上げの増は少ないと思う。</li> <li>・お客様、仕入先営業の方等景気の上向き様なお話は聞かれない。</li> </ul>
	やや悪くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民需の見積もり金額がさらに格低下している。</li> </ul>
雇用	やや良くなってくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所訪問による企業の経営動向によると、業績が以前に比べて回復傾向に向かっているとの割合が増加しているため。</li> </ul>
	変らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原油価格の高騰による物価上昇懸念により消費が減退する可能性がある。</li> </ul>

## ・その他見解

分野	判断の理由（質問3）
小売り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前再開発がよいよ始まりましたが、二年間この不景気の中完成するまで持ちこた得られるか不安がいっぱい。</li> <li>・立地、業種柄、原券、火力の影響が感じられる。</li> <li>・客数増は続いているが、お客様に夏場の勢いが感じられない。</li> </ul>
飲食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわきは自然に恵まれたすばらしい市です。誇りを持って交流人口を増やすことにアイデアなどを出し合って頑張っていきましょう。</li> <li>・日頃は外食など家族連れはあまり見られませんが、連休、祭日などは家族連れが多く良いものを（おいしいもの）値段が少々お高くて意外と出ますので、何かの日はお金を使って楽しもうという動きはあると思います。</li> <li>・短期的に見れば景気は上向きだが、長期的に見るとエネルギーの問題、原油高が響いて個人消費は落ち込む。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数が前年度と比較すると今月は上回っている。</li> <li>・イベント、催事を実施するが、消費力が悪い感じがして反応が悪い感じがする。</li> <li>・地元は不活発（利用頻度、利用料金）、首都圏は活発（利用頻度、利用料金）</li> <li>・いわき駅前の再開発は進んでいますが、どのようになるのかよく話をしている感じです。集客が出来るのか？</li> <li>・少しずつ就職率が上がっているように思えます。「いい会社」に人気集中しているように思います。</li> <li>・全て受ければ良いと言う風潮が強く、まだまだ地方は厳しいと思う。</li> </ul>
企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代交代の時代に突入、経済に限らず活動の面においても。</li> <li>・売上げの伸びがないというのは景気もありますが、同業者との競争の厳しさもあります。</li> </ul>
雇用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の高騰や他社との競争により業績回復の見込みが立たない事業所は、従業員給与の減額や従業員の削減に取り組んでいる。</li> </ul>

(以上)